



NO.554

チケット詐欺にご注意！

興行チケットに関する相談が寄せられています。

相談 SNSで、5日後に開催される海外アーティストのコンサートチケットを定価の2万円で譲るといふ個人の投稿を見つけた。譲ってほしいと連絡すると、相手から電子チケットとマイナンバーカードの写真が送られてきたので信用した。スマホ決済アプリで支払ったが、その後連絡が取れなくなった。

ネット掲示板やSNSなどで「チケットを譲る(売る)」と虚偽の情報を流し、チケット代金をだまし取る被害が横行しています。ネット上だけのやり取りでは相手の正体は分からず、事例のように写真を送ってきたり、本人だという証明にはなりません。逆に相手に伝えた名前や住所などの、個人情報も悪用されたいとも限りません。見知らぬ相手との取引はリスクがあります。支払ったお金を取り戻すことも困難です。安易に取引しないよう注意しましょう。

消費生活センター(ステーションビル3階) ☎7533・5555

チケットを購入したが、後日、本当の価格より高額だったことが分かった。公式サイトと思い購入したら転売仲介サイトだった。「転売仲介サイトで観劇チケットを定価の3倍で購入した。送られてきたチケットに転売チケットでは入場できない場合があると記載されていた」などのトラブルもあります。

業者や個人が人気の高いチケットを転売目的で買い占め、オークションや転売仲介サイトで定価より高額な価格で販売するトラブルが横行したことから「チケット不正転売禁止法」が施行されました。定価より高い金額で転売することが禁止され、最近では、興行主の同意なくチケットを転売することを禁止しているケースがほとんどです。転売チケットでは当日入場できない可能性があります。また、公演が延期や中止になったときに、払い戻しなどの補償が受けられない場合があります。やむを得ず行けないときや、転売チケットを希望するときは、興行主公認の公式リセールサイトを利用しましょう。



Q 市胃がん検診の内視鏡検査(胃カメラ)について

A 本市では昨年度まで胃がん検診はバリウムを飲んで撮影する胃X線検査で行っていました。しかし、近年自院で同検査を行う診療所が減少し、市民が胃がん検診を受診することが難しくなっているため、本市も今年度から内視鏡検査を開始しました。多くの方に受診していただくために自己負担金は2000円と安く設定していますが、内視鏡検査が可能な医療機関は市立池田病院とマックスシール異病院、池田回生病院のみ。心臓病や脳梗塞などの既往があり血液をサラサラにする薬を服用している方は受診できず、検査も2年ごとです。市の広報誌やホームページなどで確認して申し込みください。今年度(来年3月まで)の対象者は生まれた西暦年の下一桁が奇数で、検診日に50歳以上(1973年以降生まれ)の方です。

1 市立池田病院で内視鏡検査を希望される方

内視鏡検査の受け付けを委託している診療所から市立池田病院に連絡して検査日の予約を取ります。検査日になれば市立池田病院を受診して、内視鏡検査を受けてください。結果説明は後日申し込みをされた診療所で行います。

2 マックスシール異病院で内視鏡検査を希望される方
同病院へ直接行って申し込みしてください。この場合は受け付けから内視鏡検査、結果説明まで全て同病院で行います。

3 池田回生病院で内視鏡検査を希望される方(7月中旬ごろから開始予定)
同病院へ直接行って申し込み、電話で申し込んでください。受け付けから内視鏡検査、結果説明まで全て同病院で行います。検査開始時期についても、同病院へ問い合わせてください。

内視鏡検査時に癌などを疑う所見があった場合、その場で組織を採取して病理検査を行います。病理検査だけは保険診療となりますので、健康保険の自己負担が3割の方は3000円程度の追加の支払いが必要になります。早期がん治療後の5年生存率は95%以上と良好であり、内視鏡検査は胃X線検査よりも早期の胃がんを発見することができるといわれています。また胃がんに関係するピロリ菌感染の有無も、ある程度診断できます。胃がんの早期発見のため、多くの方が受診されるようお願いいたします。

池田市医師会